

毎日新聞 東京都内版
2013年11月2日(土)掲載

地域の危険学ぶ
安全マップ教室

墨田区立二葉小

子供たちに犯罪に巻き込まれない能力を身につけてもらう「地域安全マップ教室」(「だいじょうぶ」キャンペーン実行委員会主催、明治安田生命協賛)が1日、墨田区石原2の区立二葉小学校(永田学校長)であり、4年生89人が参加した。マップ作りを提唱す



立正大の小宮信夫教授(犯罪社会学)は、子供を狙った犯罪が発生しやすい場所、危険な場所を示すキーワードとして「入りやすい」「見えにくい」所と指摘。「誰が不審者かを打破るのは難しいので、キーワードを覚えてほしい」と話し、「場所」に注意することが大切と説明した。その後、住民の視線が集まりやすい公園とそうではない公園、田んぼ脇の道と家の脇の道——など二つの場所を比べ、どちらが危険かを選ぶクイズを行った。授業終了後、児童たちは早速、学校周辺



危険な場所について子供たちに説明する立正大の小宮信夫教授＝墨田区石原2の区立二葉小で